

成田市職員ワールドカフェ

～ 成田市職員だからこそできる未来への提案

実施報告書



目次

第1章 「成田市職員ワールドカフェ」について

1-1. 開催の背景・目的	3
1-2. 開催概要	4
1-3. 実施方法(ワールドカフェ方式)	5
1-4. 当日のスケジュール	7

第2章 職員意見

2-1. 全体概要	10
2-2. 施策分野別の職員意見	13

第1章 「成田市職員ワールドカフェ」について

1-1. 開催の背景・目的

背景

- 本市では、現行の新総合計画が平成27年度で終了するにあたり、次期総合計画を策定しています。
- また、「①職員の政策形成能力を向上させる」こと、「②行政の担い手として市のあり方を展望する」こと、「③総合計画策定という目的達成のために部課を跨いだ連携を図る」ためにも、次期総合計画策定プロセスのフェーズにおいて効果的な職員参画手法を選定することが重要です。
- こうしたことから、平成28年度を初年度とする次期総合計画を職員参画の手続きを経て策定するために、「成田市職員ワールドカフェ」を開催しました。

目的

- 職員が日々の業務の中で抱く、成田市の魅力や、将来の成田市に対する想いや願いを、他の職員との交流・意見交換を通じて挙げてもらう場を設定し、次期総合計画における基本構想（成田市の将来ビジョンを描く構想）の策定に繋げることを目的として、「成田市職員ワールドカフェ」を開催しました。

第1章 「成田市職員ワールドカフェ」について

1-2. 開催概要

- 成田市職員ワールドカフェの開催概要は下表のとおりです。

イベント名	成田市職員ワールドカフェ
開催日	平成26年12月9日(火)
開催時間	14時～17時
開催場所	成田市役所 大会議室
対象者の選定基準	各課から2名
参加者	98名
内容	AからTまでの20グループに分かれて実施。 職員としての日々の業務や経験を踏まえながら、「将来の成田がどのような姿になってほしいか」というテーマについて話し合いを行ってもらう。 1ラウンド20分、合計3ラウンドで、1ラウンドごとに席を自由に移ってもらう。 意見交換後、付箋にどのような成田になってほしいか、話し合いで気づいたことなどを書き込み、内容ごとに模造紙にはりつける。

第1章 「成田市職員ワールドカフェ」について

1-3. 実施方法(ワールドカフェ方式とは?)(1/2)

- 成田市職員ワールドカフェは、市民参画の手法である「ワールドカフェ」を参考として開催しました。「ワールドカフェ」とは、話し合いの場において、カフェテーブルのような小グループに分け、度々メンバー交換をする(ラウンド制)ことにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待される手法です。

カフェのようにくつろいだ雰囲気

- ・ 創造的なアイデアは、会議室の中ではなく、オープンに会話ができるカフェのような場所でこそ生まれると言われている。
- ・ そこで、カフェでくつろいでいるような雰囲気の中、テーマに集中した対話を行う。



- くつろいだ雰囲気の中で、創造的なアイデアが創出しやすくなる。

付箋による意見の整理

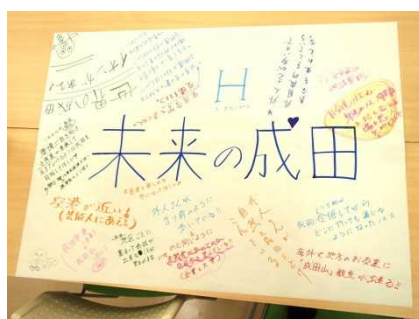
- ・ 参加者が最も重要と考えるアイデアを大きな付箋(ポストイット)に書き出し、模造紙に貼り出す。
- ・ 参加者全員が模造紙の前に集まり、ファシリテーターが手伝いながら、付箋を分類・整理する。



- 全員の意見を整理することで、意見集約に繋げることができる。

思いついたことを自由に記載

- ・ 模造紙を用意し、会話をしながら自由にアイデアを記載する(発表しないため綺麗に書く必要はない)。
- ・ ラウンドが移れば、新しくそのテーブルに来た人は、会話し、既に書かれている内容を確認しながら、自分のアイデアを追記していく。



- 他者の意見を理解できると共に、新しい意見を創出しやすくなる。

ラウンドごとにメンバー交換

- ・ 4~5人1グループで決められたテーマについて話し合う。1ラウンド20~25分程度で数ラウンド行う。
- ・ ラウンドごとにホスト役一人を残してそれ以外のメンバーを交換し、新たなテーマについて話し合う。



- 参加者全員で話し合っているような効果が生まれる。

第1章 「成田市職員ワールドカフェ」について

1-3. 実施方法(ワールドカフェ方式とは？)(2/2)

- ワールドカフェでは、参加者4～5人で1つのグループを形成し、複数のラウンドにわたって、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いを行います(「成田市職員ワールドカフェ」では3ラウンドを設定しました)。
- 1回のラウンドは20分程度で行い、各ラウンドの間には、席替えタイムとして、1人(テーブル・ホスト)を残して他の全員(旅人)に、自由に他のテーブルへ移ります。全ラウンド終了後、第3ラウンドで出たアイデアや全体の感想などをふせんに書いていただき、グループ内で感想を共有した後に、ふせんを模造紙に貼り付け、それを張り出したうえで全体の意見共有を行います。

第1ラウンド

最初のテーマについて話し合う。

ホスト役1名を残して、旅人は席替え(別のテーブルへ移動)

第2ラウンド

2番目のテーマについて話し合う。

ホスト役1名を残して、旅人は席替え(別のテーブルへ移動)

第3ラウンド

3番目のテーマについて話し合う。

振り返り

第1～3ラウンドまでを振り返る。
自分の意見を付箋に書き、グループ内で意見共有。
付箋を模造紙に貼り付け、会場全体で意見共有。

第1章 「成田市職員ワールドカフェ」について

1-4. 当日のスケジュール (1) 全体スケジュール

- 成田市職員ワールドカフェは、午後2時に開会し、午後5時まで開催しました。当日のスケジュールは下表のとおりです。

時間	アジェンダ	内容	担当
14:00～	開催の挨拶	・ 参加者への謝辞、開催の挨拶	企画政策課長
14:10～	趣旨・次第説明	・ 職員ワールドカフェの趣旨、進行内容の説明	企画経営係長
14:20～	成田市の現状説明	・ 成田市の人口推計、財政状況などの説明	企画経営係長
休憩(5分)			
14:40～	成田市職員ワールドカフェの進め方	・ 職員ワールドカフェの特徴や、進め方の説明	監査法人トーマツ
14:55～	話し合い(第1～第2ラウンド)	・ テーマに沿った話し合い	職員
休憩(5分)			
15:55～	話し合い(第3ラウンド)	・ テーマに沿った話し合い	職員
16:21～	振り返りタイム	・ テーブルごとの振り返り、意見整理(付箋作成)	職員
16:45～	全体共有	・ 意見の分類(付箋の模造紙への貼り付け)、発表	職員
16:55～	閉会の挨拶	・ 参加者への謝辞、閉会の挨拶	企画政策課長補佐

第1章 「成田市職員ワールドカフェ」について

1-4. 当日のスケジュール (2) 話し合い

- 本市の財政状況、話し合いの進め方の説明を踏まえて、3ラウンドにわたって、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いを行いました。

ラウンド	話し合いのテーマ
第1ラウンド	成田市として「足りないこと」、「もっと進めるべきこと」って何？
第2ラウンド	12年後の成田はどのようなまちになっていて欲しい？
第3ラウンド	ビジョンを実現するために市として何をする必要がある？



第1章 「成田市職員ワールドカフェ」について

1-4. 当日のスケジュール (3) 振り返りタイム

- 話し合いの結果、参加者は付箋で2枚以内で意見・感想を記載し、それに基づいて各テーブルで意見の発表を行いました。
- その後、記載いただいた付箋を施策の分野ごとに壁に掲示した模造紙に、貼り付けていきました(施策ごとに意見を分類)。

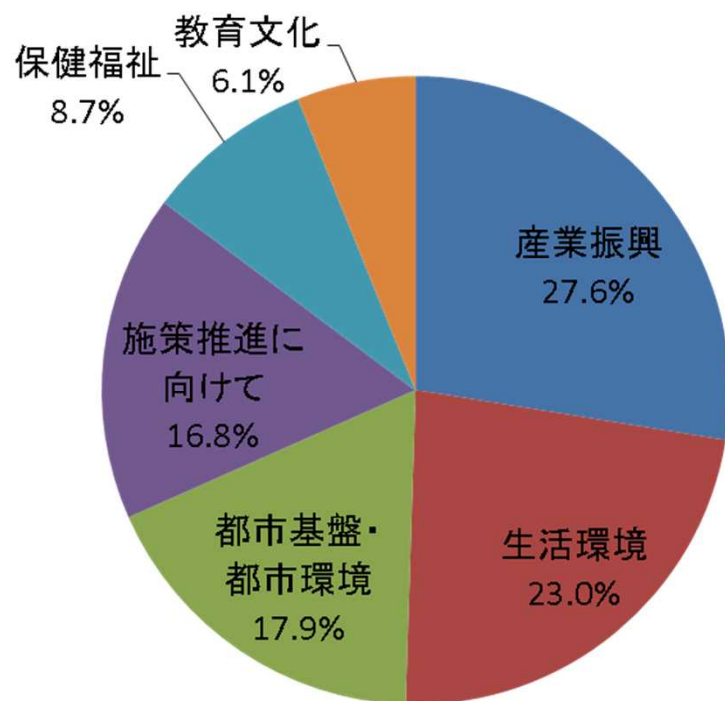
分類	施策分野
都市基盤・都市環境	空港・道路・交通・駅周辺
産業振興	観光・農商工業
保健福祉	高齢者支援・障害者支援・医療・健康
教育文化	学校教育・国際交流・青少年教育・生涯学習
生活環境	防災・防犯・道路・住環境
施策推進に向けて	コミュニティ・市民協働・行財政改革



第2章 職員意見

2-1. 全体概要 (1/3)

- 参加者に書いていただいた付箋は合計196あり、これらを本市の6つの施策分野に分類しました。
- その結果、「産業振興」に該当する施策分野に関する意見が27.6%で最も多く、「生活環境」(23.0%)、「都市基盤・都市環境」(17.9%)と続いています。

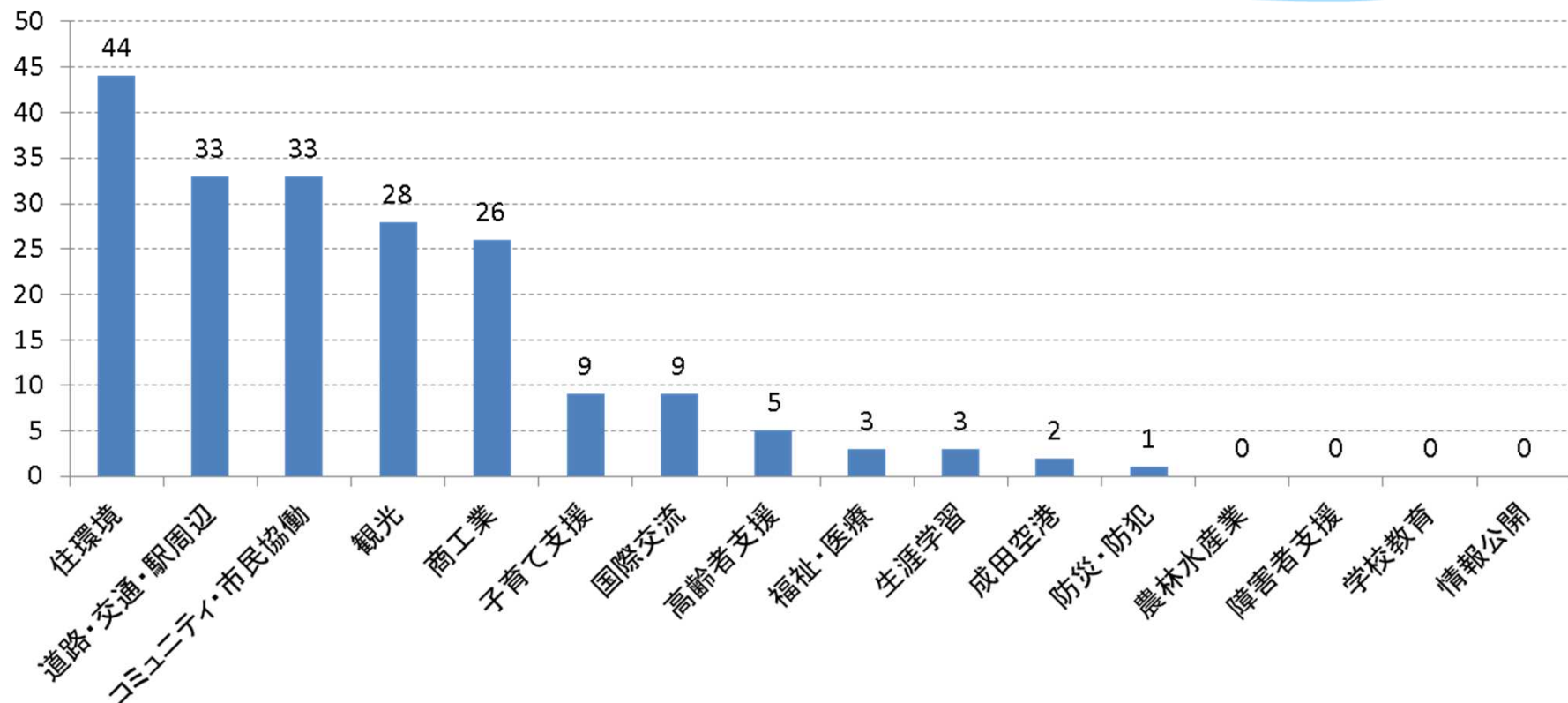


- 全体の概要を見ると、「産業振興」に関する記載内容が最も多く(27.6%)、次いで「生活環境」が23.0%で続いており、両施策で全体の約50%となっています。
- 一方で記載が少ない項目は、「教育文化」と「保健福祉」です。これらの分野は、市民向けのワールドカフェでは比較的多く記載されており、市民向けと職員向けにおいて相違があります。(市民向けでは「教育文化」14.9%、「保健福祉」20.9%)
- 計画の策定にあたっては、記載の多かった「産業振興」、「生活環境」に関する施策を中心に、職員のアイデア・関心の度合いを十分に考慮していくことが求められます。
- 一方で、「教育文化」や「保健福祉」については、意見としてはあまり多くはありませんが、計画の策定にあたり、市民の考えと乖離したものが策定されないように留意する必要があります。

第2章 職員意見

2-1. 全体概要 (2/3)

- 付箋に書いていただいた内容をさらに詳細に分類すると、「住環境」に関する意見が44件で最も多く、「道路・交通・駅周辺」(33件)、「コミュニティ・市民協働」(33件)と続いています。



第2章 職員意見

2-1. 全体概要 (3/3)

- 付箋に書かれた意見のうち、特に多かった「住環境」、「道路・交通・駅周辺」、「コミュニティ・市民協働」に関しては、下表のような意見が挙がっています。

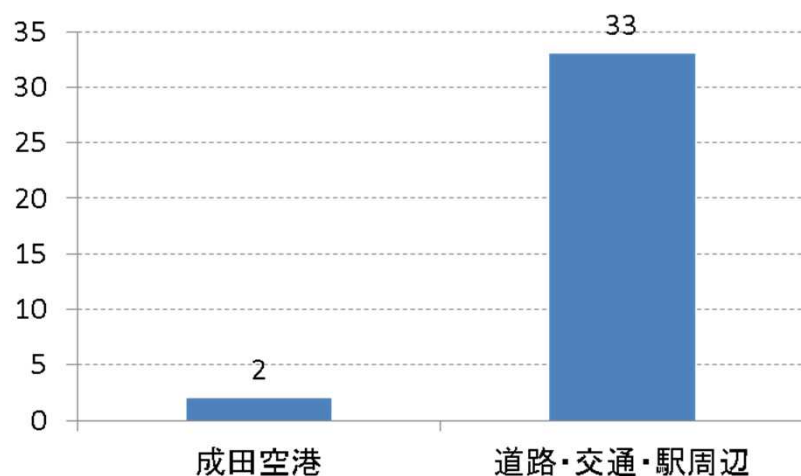
「住環境」に関する意見(抜粋)		「道路・交通・駅周辺」に関する意見(抜粋)		「コミュニティ・市民協働」に関する意見(抜粋)	
誰もが住みやすいまち	- どこに住んでも暮らしやすいバランスの良いまち - 活気のある市民が楽しめるまちづくりが必要 - 市内各地域の現状を格差なく、バラエティを生かした町にする - 旧成田市・大栄・下総それぞれの特色を生かした差別化 - 街の更新 今あるものを活かしたまちにする - 若者から高齢者まで快適に生活できるまちづくり	道路	- インフラ整備 - 道路の整備をし、行き来しやすいまちにする - 市街地と郊外を結ぶ道路を作る	行政改革	- 行政サービスを受ける人が応分の負担をし、サステナブルな仕組みをつくる - 財政規律を守り、適切な場所に適切な量の税金を投入できる内部的な規律が整った市にする
		交通	- 交通の便がよいまちにする - 交通の便がよく、車がなくても暮らしやすい市にする - 交通の便について、より成田に訪れやすくなるよう、車以外の交通手段の確保を支援する - 移動を便利にする交通の拡充	市民参画	- 市民の方が積極的に参加できる街にする(市民が参加しやすい環境づくり) - 住民(大規模)でのカフェ300人で共通ビジョン
若者が集うまち	- 空き家の有効利用を促す施策をたて、若者世帯を呼び込む - 若者が定住する魅力あるまちにする - 若い人が集まるおしゃれなまちにする	駅周辺	- 駅前施設の利用合理化 - 京成成田駅東口の充実 - 駅前開発を充実させて若者も楽しめる成田に - 駅前の利便性 交通の利便性	住民交流	- 人口を増やして自然体のコミュニティを造成、活用していく - 人々が助け合って暮らすコミュニティづくり
				地域特性の活用	地域の特性を活かしたバランスのよいまちづくり

第2章 職員意見

2-2. 施策分野別の職員意見

(1) 都市基盤・都市環境 ～空港・道路・交通・駅周辺

- 「都市基盤・都市環境」については、「道路・交通・駅周辺」に関する意見が33件で最も多く挙がりました。



- 道路・交通・駅周辺の整備に関する記載が多くなっています。
- 一方、成田空港に関する記載は、あまり多く記載されていません。
- このことから、成田空港そのものの整備や利便性向上よりも、空港を結ぶ交通網の整備に、より関心の度合いが高いということがわかります。
- 計画の策定にあたっては、特に駅周辺や交通網の整備に関する施策について、職員の意見等を参考にしていくことが望ましいといえます。

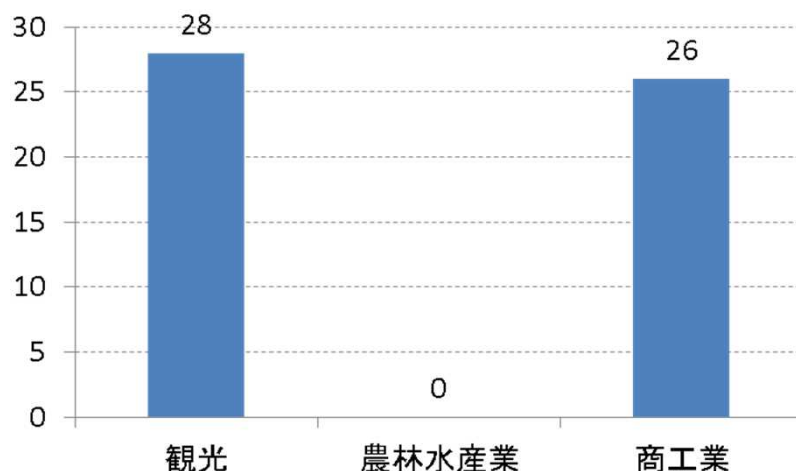
施策	意見(抜粋・原文ママ)
成田空港	・ 成田の資源を生かした(空港)まちづくり ・ 空港を使った人が成田に滞在してくれるようなまちにする
道路・交通・駅周辺	・ 駅前施設の利用合理化 ・ 交通の便が良い市にする ・ 若い人を呼び込むために、商業施設の拡大や駅前の再開発を推進する

第2章 職員意見

2-2. 施策分野別の職員意見

(2) 産業振興 ～観光・農商工業

■ 「産業振興」については、「観光」に関する意見が28件で最も多く挙がりました。



- 職員向けでは、「規制緩和による民間企業の誘致」という内容の記載が多く見られました。
- 計画の策定にあたっては、国家戦略特区などを十分活用し、民間企業の誘致に関する施策を盛り込むことが望ましいと考えられます。

施策	意見(抜粋・原文ママ)
観光	・ 観光産業を集積化して、IR(カジノ)誘致をする ・ 観光産業に力をいれ、何度でもきたくなるようなまちをつくる ・ レジャーが充実し、子どもからお年寄りまで住みやすい町にする
商工業	・ 民間企業との連携を図り、雇用創出、施設運営等の拡大を目指す ・ 規制緩和による民間事業の参入 ・ ふるさと納税 LCCの割引をする

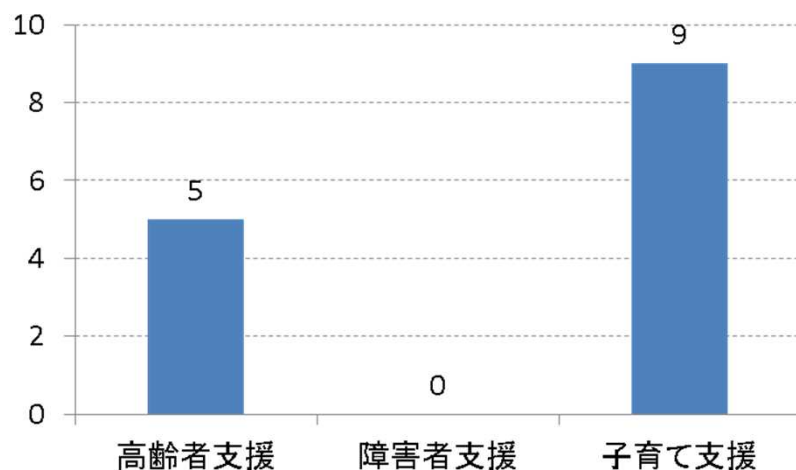
第2章 職員意見

2-2. 施策分野別の職員意見

(3) 保健福祉

～高齢者支援・子育て支援・保健医療

- 「保健福祉」については、「子育て支援」に関する意見が9件で最も多く挙がりました。



- 「子育て支援」に関する記載が多くなっています。特に、子育てをする親の世代に対する支援を求める内容が多くなっています。
- 計画には、子ども達自身の健全な育成のほか、子育てをする親世代に対する支援施策を盛り込む必要があると考えられます。

施策	意見(抜粋・原文ママ)
高齢者支援	・ 老後の生活を保障する高齢者に優しい町にする
子育て支援	・ 子どもが育ちやすい、子どもを育てやすい環境を目指したまちづくり
福祉・医療	・ 福祉を充実する

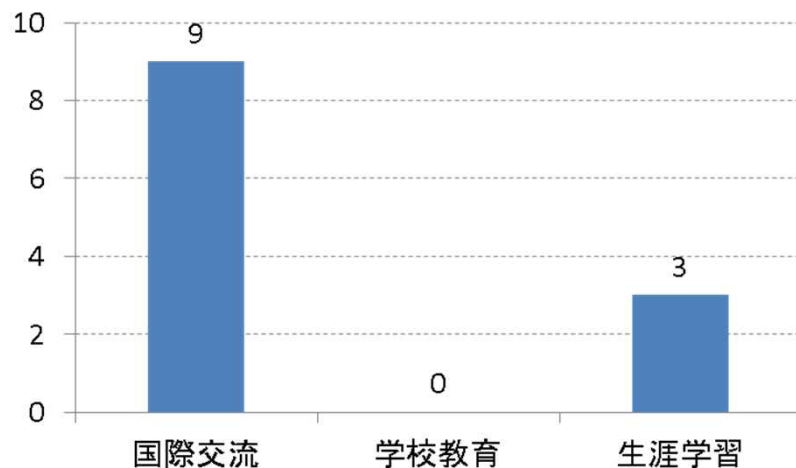
第2章 職員意見

2-2. 施策分野別の職員意見

(4) 教育文化

～学校教育・国際交流・青少年教育・生涯学習

- 「教育文化」については、「国際交流」に関する意見が9件で最も多く挙がりました。



- 教育分野の内容としては、国際交流に関する記載が多くなっています。成田市職員全員が英語が話せる環境をつくるなど、市民向けにはない特徴的な意見もみられます。
- 計画の策定にあたっては、国際交流を活発に行うための英語教育の充実や交流イベントの開催による国際交流の活性化策などを盛り込むことが望ましいと考えます。

施策	意見(抜粋・原文ママ)
国際交流	・ 外国語が話せる国際色豊かなまちづくり ・ 国際都市にふさわしい語学力を身につけるための支援を ・ イベントを開催し、外国人と交流できるまち ・ 成田市職員全員が英語が話せる環境にする
生涯学習	・ スポーツによる健康な町づくり ・ 「スポーツ王国・成田」のためにジュニアの育成 夢を市ぐるみで展開

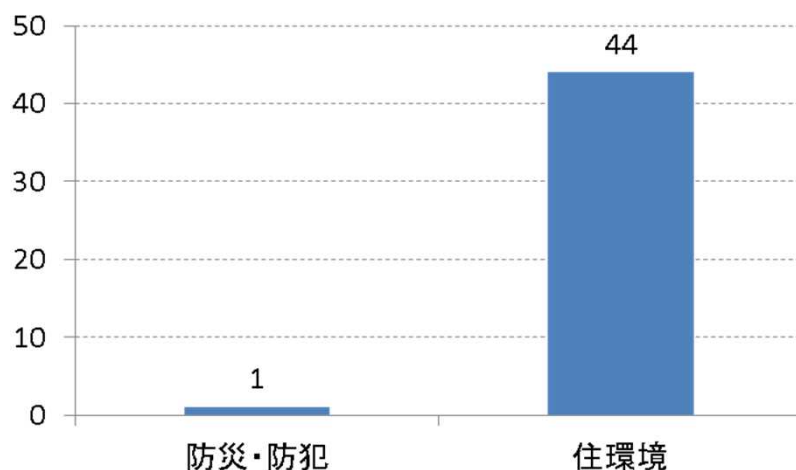
第2章 職員意見

2-2. 施策分野別の職員意見

(5) 生活環境

～防災・防犯・住環境

- 「生活環境」については、「住環境」に関する意見が44件で最も多く挙がりました。



- 生活環境では、「若者の定住」を求める声や子どもから高齢者まで、あるいは市街地と郊外のいずれの居住者にとっても住みやすいまちを求める意見が多く、成田市内の各地区の特性を活かし、誰もが住みやすいまちを作る事を望む声が多いことがわかります。
- 国際医療福祉大学の新設により増加する学生を成田に取り込むための環境づくりなども今後検討していく必要があります。
- 計画の策定にあたっては、誰もが住みやすい街づくり、若者が定住する魅力あるまちづくりを整備する施策を盛り込むことが望ましいと考えます。

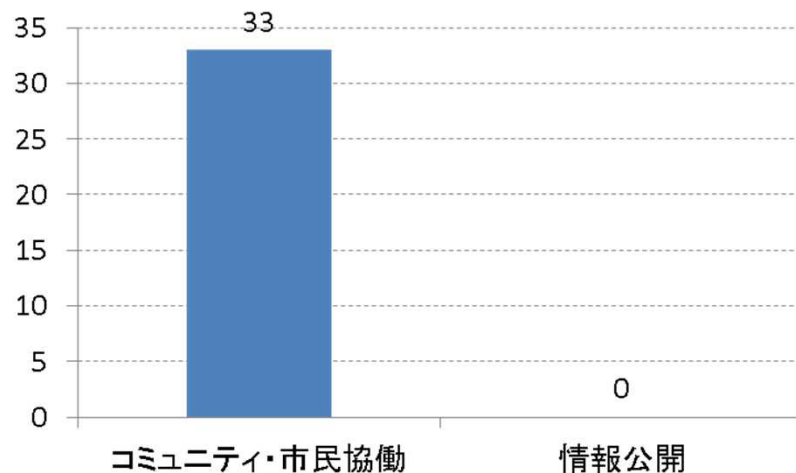
施策	意見(抜粋・原文ママ)
防災・防犯	・ 市民が安心して暮らせるまちにする 安全なまちづくり
住環境	・ 都市のデザインを配慮したまちにする ・ 学生が来る！大学が来る！新しい地域システムの構築 ・ インフラを更新し、あたりまえに利用できる町にする ・ 高齢者と若者がお互いに楽しく暮らせるまちにする

第2章 職員意見

2-2. 施策分野別の職員意見

(6) 施策推進に向けて ～コミュニティ・市民協働・行財政改革

- 「施策推進に向けて」については、「コミュニティ・市民協働」に関する意見が33件で最も多く挙がりました。



- 施策推進に向けての対策としては、子どもから大人まで多くの市民を巻き込んだ、まちづくりへの積極的な参画を求める声が多くありました。
- また、成田職員として、部門を越えた横断的な行政サービスの提供を望む声も多くみられました。
- このことから、市民と職員、あるいは市民同士や職員同士によるコミュニケーションを推進し、各施策を実行するための仕組みづくりが求められます。
- 計画の策定に際しては、市民及び職員の声が反映されるような仕組みづくりの実現に向けた施策を盛り込むことが望ましいと考えます。

施策	意見(抜粋・原文ママ)
コミュニティ・市民協働	・ 市民の方が積極的に参加できる街にする(市民が参加しやすい環境づくり) ・ 子ども議会や高校生、大学生を対象とした意見の交換会 ・ 自治会のない地域の人でも、まわりのつながりが保てる「孤独とは無縁」のまちにする ・ PPPの積極活用 ・ 財政規律を守り、適切な場所に適切な量の税金を投入できる内部的な規律が整った市にする